令和８年（2026 年）11 月１日発行　第７９５号

広報あきる野

令和8年 2026年 11月

Akiruno city news



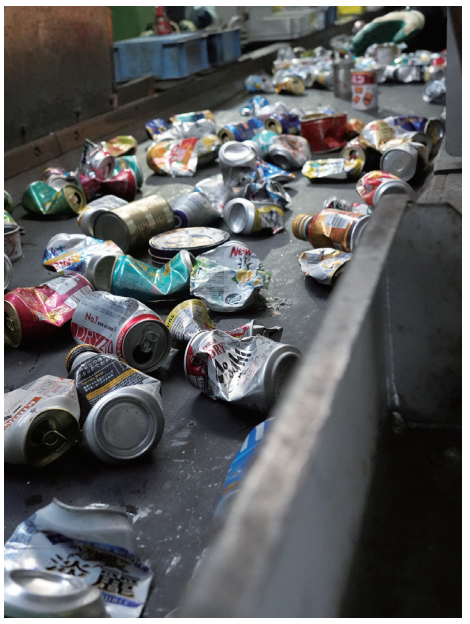
西秋川衛生組合 受入ごみピット

特集

それ、本当にごみ？

ごみの減量、資源化のすすめ















主な記事　P4>　市の財政状況をお知らせします　　P5 >　高齢者のスマートフォン購入費用を助成します

世帯と人口　令和８年１０月１日現在

世帯　３７，８８０世帯（前月比　２５世帯減）

人口　７８，４３９人　（前月比　２８人減）

広報あきる野は、毎月1日に新聞折込と個別配布でお届けしています。市内に住所があり、折込対象の新聞を購読していない方は、市に個別配布をお申込みいただければ、無料でお届けします。また、市ホームページでもご覧になれます。問市長公室

発行 あきる野市　〒 197-0814　あきる野市二宮 350　　編集 企画政策部市長公室　☎ 042-558-1111

特集　それ、本当に ごみ？

ごみの減量、資源化のすすめ

私たちのくらしは、衣食住にまつわるたくさんのアイテムに囲まれています。手に入れるときは、値段やデザイン、品質などいろいろな観点で選んでいても、それを手放したり捨てるとき、どんなことを考えていますか。
自分の手から離れるものが本当にごみなのか、ちょっとだけ考えてみませんか。

担当課　生活環境課清掃・リサイクル係

市から出たごみと資源の量

減少傾向ではありますが、2043 年には最終処分場が満杯になると予想されています。

１年間の排出量

可燃ごみ



１５，９９８ｔ
２０３ｋｇ／人

不燃ごみ



３１３ｔ
４ｋｇ／人

粗大ごみ



８９７ｔ
１１ｋｇ／人

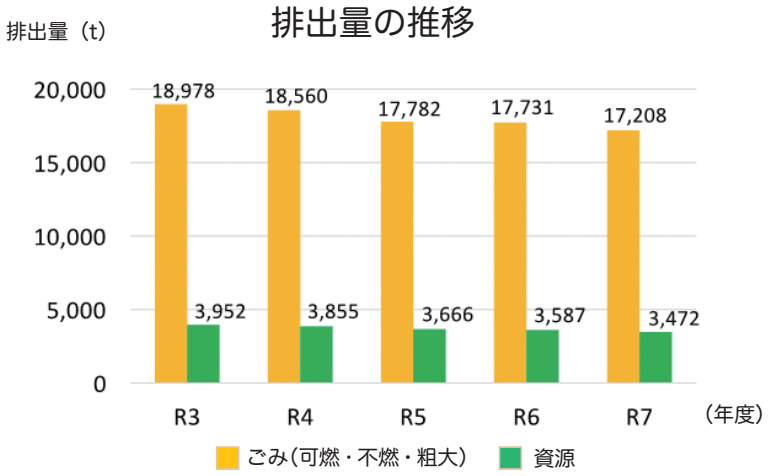
資源



３，４７２ｔ
４４ｋｇ／人

令和７年 10 月１日時点

排出量の推移



ごみを減らすことのメリット

ごみが減ることは、私たちだけではなくこれからの世代のくらしにも大きく関わっています。

家計に優しい

ごみ袋の使用枚数を減らしたり、小さいサイズで出せるので、家計への負担が減ります。

市のごみ袋は、ミニから特大までの５種類があります。ワンサイズダウンを目標にごみを減らしてみませんか。

コストの削減 & 施設が長持ち

収集・運搬・焼却・埋め立てなどに掛かる費用を抑えることができます。

埋め立てを行う最終処分場の延命につながり、今ある施設をより長く使用することができます。



御前石最終処分場

環境への配慮

焼却時に発生する CO_2 や有害物質の排出量が減り、地球温暖化の防止につながります。

資源化が進むことにより新たな原料の使用量を減らすことができます。

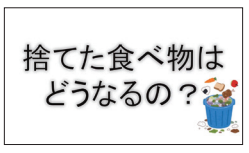
くらしの中でできるごみの減量・資源化のコツ

必要以上に買わない きちんと食べ切る

市の家庭ごみには、未開封のまま捨てられた食品や食べ残しなどが約１割含まれています（令和４年度実績）。

買い物の際は「安いから」「いっぱい入っているから」「家にあった気がするけれど…」ではなく、「必要なものを使い切れる分だけ」という意識を持ちましょう。また、買い物に行く前には冷蔵庫の中身を見て、今あるものを確認しましょう。

市HPでは、食品ロスを削減するための動画を公開しています。



生ごみは捨てる前に 水切り・乾燥を！

水をよく切り乾燥させることにより、ごみの減量だけではなく、焼却処理の際の燃料の使用量も削減できます。

紙は名刺サイズから 資源になります

この枠が名刺サイズ（91 ㎜× 55㎜）の目安です。小さくても立派な資源です。可燃ごみではなく、資源として出しましょう。

※レシート（感熱紙）や防水加工されている紙などの特殊紙は、資源になりません。可燃ごみとして出してください。

市職員に聞いてみました

生ごみの水切りと乾燥は、減量以外にもメリットがあります。収集するときに袋がいっぱいで破けたり、水が漏れると、臭いや汚れが出てしまいます。スムーズな収集のため、収集員へのご配慮をお願いします。

紙類について組成調査（ごみ袋に入っている中身の調査）を実施したところ、本来であれば資源に分別される紙が可燃ごみの中に入っていました。「燃えるからいいか」という気持ちでごみにしてしまっている人は、多いと思います。少しでもごみの出し方の意識を変えて取り組んでいただくことで、収集量の削減につながります。



生活環境課職員

市民インタビュー

ごみの減量や資源化のために活動されている方にお話を伺いました。

資源集団回収 ６年連続実績良好団体　富士見台自治会

市では、資源集団回収事業を推進しており、回収量に応じた奨励金制度のほか、回収実績が良好だった団体に対して表彰を行っています。



富士見台自治会 会長
石原 繪哩子さん

せっかく使う時間だから、とにかく楽しもうと思っています。

準備と運営

月１回の回収に向けて、自治会でチラシを回覧したり、組長さんにお願いして、自治会に入っていないお宅にもポスティングしてもらっています。当日は、車６台で回収に行きます。積み下ろしは、皆で取り掛かるので、すぐに下ろせます。そのあとは、缶のアルミとスチールの仕分けなどをします。



現在に至るまで

以前は７人ほどで行っていましたが、本当に大変でした。２～３時間動き続けるので、疲れ切っていました。それからは、手伝えるときに自主的に来てもらえるような雰囲気づくりを大切にしたところ、今では多いときには 40 人以上のメンバーが来てくれるようになり、作業も１時間弱で終えることができています。

やりがいなど

人間関係、絆、居場所ができることです。毎月会って話をするうちに顔見知りが増えて、今は行くだけで安心感があります。

資源化はもちろん、奨励金をいただくことによって自治会の運営も推進できますし、通常の収集にかかる費用よりも金額が抑えられるので、市の財政面にも貢献できます。

同自治会は、６年連続で資源集団回収実績良好団体として表彰されています。

あきる野ごみ会議

市では、廃棄物減量等推進員（公募市民・事業所・行政の３者で構成）による「あきる野ごみ会議」を開催しており、取組の一つとして、ごみ情報誌「へらすぞう」を発行しています。



あきる野ごみ会議 会長
浦野 太嗣さん

浦野さんは、市内でごみの収集事業を営まれています。

「へらすぞう」の発行に当たって

ごみの減量となると、細かい分別や我慢が必要なイメージがあると思いますが「普段の生活の中でちょっと意識するだけでも減らせる」ということを伝えられればと思っています。

さらに、多くの方に読んでいただきたいので、町内会・自治会や公共施設以外にも、小学校で配布していただいています。学校で読んだ子どもたちが家に帰って家族に話したり、正しい分別をすることで、親世代の行動も変わるきっかけになればと思います。



へらすぞうは、年１回発行です。次号は、令和９年２月発行予定です。市内各施設で配布するほか、市HPでもご覧いただけます。

ごみ会議について

十数年前、初めて参加しました。正直に言うと、自分はもともとごみを収集する側であって、そこまで減量に関心があったわけではありません。ですが、実際に生活している市民の目線で「どうしたらごみを減らせるのか」を考えることができる場として非常に勉強になっています。会議では活発な意見が飛び交うこともありますが、堅苦しくはなく和やかな雰囲気です。

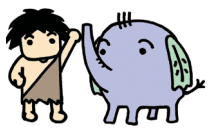
市民の皆さんへ

ぜひ、へらすぞうを読んでいただきたいです。ごみの減量は、一人が頑張るというより、市民全員、大きく言うと国民全員で少しずつ取り組むことが大切です。一人ひとりが少し意識するだけでも、変わってくると思います。

ごみ減量推進キャラクター
ヘラスゾウとげん人くん

平成 16 年４月にあきる野市のごみ収集が有料化されることに伴い誕生しました。

２人は、お互いのアイディアを持ち寄って、どうすれば楽しくごみを減らせるかを一緒に考え、地域の子どもたちや市民の皆さんと共に行動しています。



知れば面白い リサイクル

企業の担当者さんへインタビュー

使用済みや賞味期限切れの油に新しい役割を

廃食油回収（株）吉川油脂



本来ごみになっていた油が、燃料や塗料、肥料用の油かすなど新たな用途で使われるため、資源の循環や脱炭素に貢献できます。油の種類や品質に合った処理を行うことで、余すところなくリサイクルできる仕組みを作っています。「油はリサイクルできます。」と言われても、手間に感じてしまうかもしれませんが、まず空の容器をキッチンに置くことから始めてみませんか。

※市での次回の回収は、令和９年２月予定

ペットボトルは、ペットボトルに

ボトル to ボトル「水平リサイクル」

サントリーグループホールディングス（株）


ペットボトルを圧縮した「ベール」

ペットボトルは、単一素材でできているため、さまざまなものにリサイクルしやすい資源です。ただ、その先を長い目で見ると、最終的には焼却されて CO_2 を排出してしまいます。使用済みペットボトルを回収して新たなペットボトルに生まれ変わらせることにより、新たな化石由来原料を使用せず、CO_2 の排出も大幅に削減できます。あきる野市の皆さんは、とても綺麗に排出してくださっていますが、よりリサイクル率を上げるためにも「ラベルとキャップをはずす」「中をすすぐ」「平たく潰す」ということを意識していただくようお願いします。

リユース品を回収します

もう使わないけど、捨てるにはもったいないものを、連携企業を介して次の使い手につなげます。

日12 月５日㈯ 10 時～ 13 時
場中央公民館市民ギャラリー
※搬入時、出入口付近での駐停車はご遠慮ください。

◆持ち込みできるもの
食器・キッチン用品、雑貨、工具、家電、おもちゃ
※リユース品として再利用可能なものに限ります。状態によっては、持ち帰っていただく場合があります。

ほかにもこんな取り組みをしています

小学校への出前授業



市内小学校の４年生を対象に、ごみと資源にまつわる出前授業を行っています。

教室や体育館で行う座学のほかにも、校庭に収集車を入れ、子どもたちが自宅から持ってきた空き缶を投入する体験も行っています。

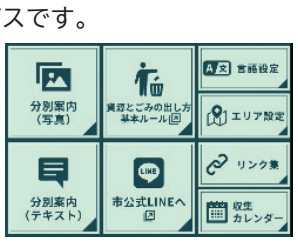
フードドライブ

家庭で余っている食品を回収し、必要としている方へ届けています。

※市での次回の回収は、令和９年１月予定
※寄付のための新たな食品の購入は、ご遠慮ください。

AI ごみナビ

文字や画像を送信するだけで、ごみや資源の分別方法がわかる LINE 上のサービスです。



ご協力をお願いします

○年末にかけてごみが増加する傾向にあります。自宅の掃除や整理は計画的に行い、ごみはこまめに出してください。
○充電して使用する製品群は、全て有害ごみです。可燃ごみや不燃ごみに混ざってしまうと、収集時や粉砕時に発火し大変危険です。絶対に混ぜないでください。充電して使用する製品群は、中身の見える透明な袋に入れて有害ごみの日に排出してください。